

授業科目名	生涯発達看護特論Ⅰ <i>Advanced Studies in Nursing across the Lifespan I</i>			担当教員	姫野 稔子、中村 光江 大重 育美、永松 美雪 原田 紀美枝
開講年次	1年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	30(2)
必修選択	専攻領域必修	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	看護の対象者を生涯発達の観点で捉え、各期に生じる健康問題と生活への影響、それらの援助に必要な概念、諸理論、アセスメントについて探究する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯発達に関する理論・概念を理解できる 2. 発達各期に関する理論・概念・ケアモデルが理解できる 3. 発達各期における理論・概念・ケアモデルを用いて、看護の対象の健康課題を包括的にとらえることができる 				
授業計画	<p>【生涯発達に関する理論・概念】</p> <p>1回 ライフサイクル理論 (姫野) 2回 発達課題論 (大重) 3回 心理社会的発達理論、社会文化認知理論 (永松) 4回 行動変容理論 (中村) 5回 家族発達理論 (大重) 6回 役割理論 (原田)</p> <p>【発達各期の理論・概念・ケアモデル】</p> <p>7回 病みの軌跡理論 (中村) 8回 社会的学習理論 (姫野) 9回 病気の不確かさ理論 (原田) 10回 セクシュアリティにおける発達課題と健康課題 (永松) 11回 アイデンティティ生涯発達論 (大重)</p> <p>【健康課題とアセスメント】 ※12～15 (姫野・中村・大重・永松・原田)</p> <p>12回 発達各期における理論・概念・ケアモデルを活用した健康課題とアセスメント(1) 13回 発達各期における理論・概念・ケアモデルを活用した健康課題とアセスメント(2) 14回 発達各期における理論・概念・ケアモデルを活用した健康課題とアセスメント(3) 15回 発達各期における理論・概念・ケアモデルを活用した健康課題とアセスメント(4)</p>				
学習方法	生涯発達・発達各期に関する理論等の講義・ワークシートを用いた演習に加え、発達各期の事例課題より、適切な理論、概念などを用いて、患者の健康課題を包括的に検討し、より効果的なアセスメントや看護についてプレゼンテーション、ディスカッションを行う。				
オフィスアワー	以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。 姫野：金曜日の昼休み、t-himeno@jrckicn.ac.jp 中村：火曜日の昼休み、m-nakamura@jrckicn.ac.jp 大重：火曜日、水曜日の昼休み、n-ooshige@jrckicn.ac.jp 永松：火曜日の昼休み、m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp 原田：水曜日の昼休み、k-harada@jrckicn.ac.jp				
テキスト	特に指定しない				
参考文献	佐藤栄子：中範囲理論入門（第二版）。名古屋，日総研出版，2009。 野川道子編：看護実践に活かす中範囲理論 第2版。メジガルフレンズ，2016。 筒井真優美：看護理論家の業績と理論評価。東京，医学書院，2015。				
評価方法	授業への参加度・ディスカッション（50%）、プレゼンテーション（50%）				